

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 議会中継システム導入事業（仮称）
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	9	
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	176	事務事業コード 99999176 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	議会中継システム導入事業費
------	------	------------	---------------

部 名	議会事務局	グループ名	総務 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください） 市民
手段（事業の内容・活動）	（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください） 市議会の本会議及び委員会の審議状況をインターネットでライブ中継するとともに、録画された映像を配信する。
目指す姿（成果）	（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください） ・登別市の重要な課題、問題を市民に周知することができる。 ・市政情報をはじめ、まちづくりの現況や課題などについて市民と共有を図ることができる。 ・政策実施に至るまでの審議プロセスを公開でき、市民のまちづくりへの関心を高めることができる。 ・本会議や委員会など議会での議論を公開し、議会の透明性を高め、市民の議会活動への理解を深めることができる。 ・市民がわざわざ議場まで足を運ばずに自宅で視聴できるため、市役所や議会をより身近なものとして感じることができる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	アクセス件数/年（ライブ中継） （議会中継を視聴した人数）	人	目標値	6,000				
			実績値	7,587				
	アクセス件数/年（録画配信） （議会中継を視聴した人数）	人	目標値	3,000				
			実績値	3,432				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	37	3,359	3,335	3,315	3,295	9,945
合 計				37	3,359	3,335	3,315	3,295	9,945
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	400	439			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		400	439			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本会議や委員会等の中継及び録画の映像をネット配信することにより、市民の議会に対する理解を深めるとともに、議会活動のPRを図ることができる。また、自宅のパソコンなどで視聴できることから、議会等の傍聴を希望する市民の利便性を図ることができる。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ ライブ中継や録画配信を行うことで、本会議や委員会などの実際の審議状況を迅速に伝えることができ、市民に開かれた議会を推進することができている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 議会だより等による周知によりアクセス数の増を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成21年度に中継システムの導入が完了し、平成25年度まで導入資金の償還を行う。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	議会中継システムの導入が完了し、本会議や委員会の審議の様態を広く発信できるようになった。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）